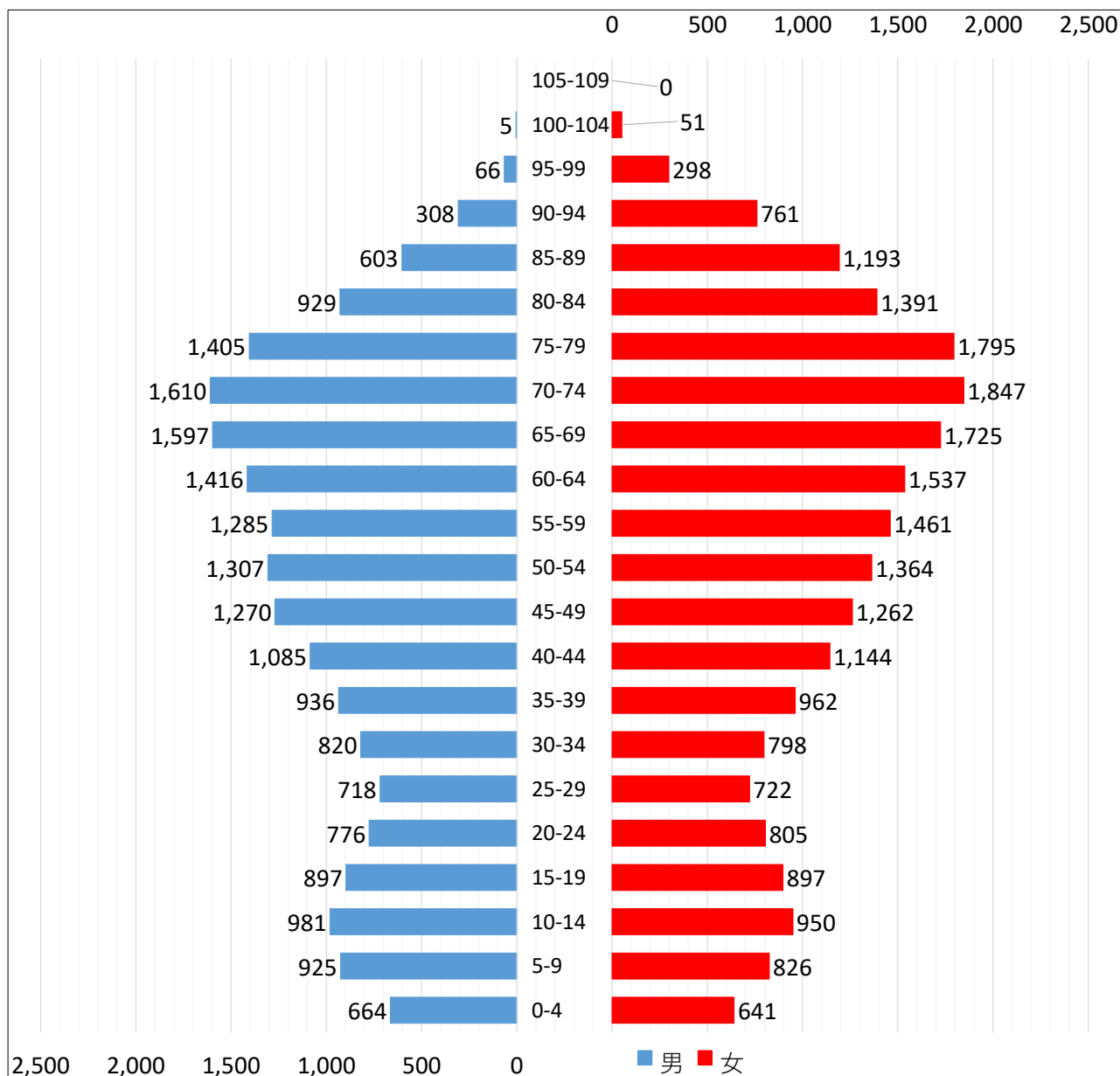


2. 人口、世帯

(1) 島原市の人口と世帯の状況

① 年齢区分ごとの男女別人口（令和6年12月31日現在）

（単位：人）



年齢区分	人口（単位：人）
100歳以上	56
80～99歳	5,549
60～79歳	12,932
40～59歳	10,178
20～39歳	6,537
0～19歳	6,781
合 計	42,033

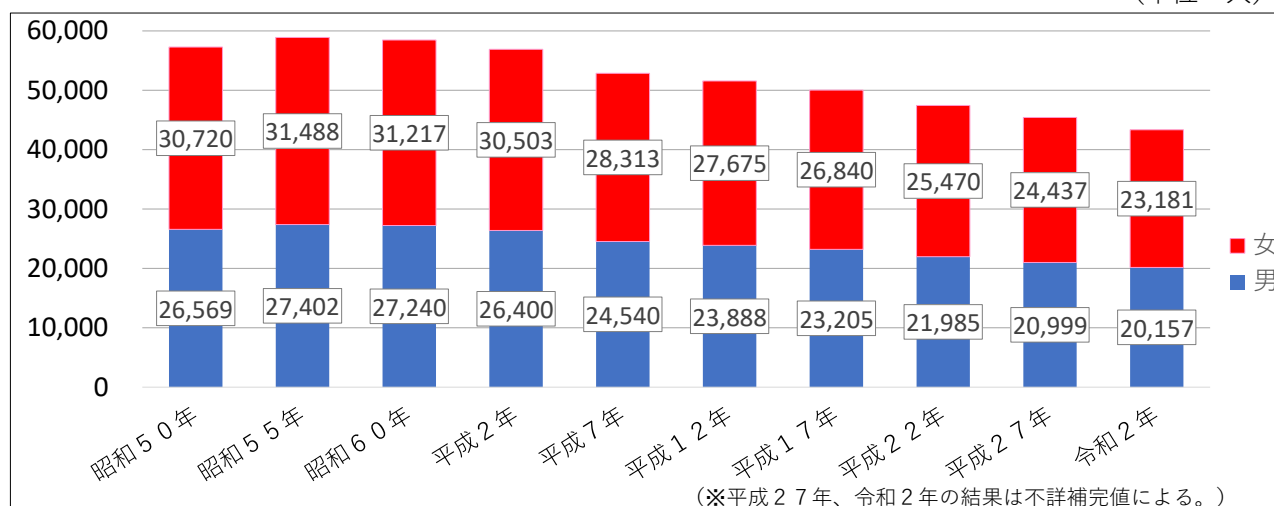
年齢区分ごとの人口は、20年代ごとに区分した場合、60～79歳の人口が一番多く、若くなるに従って少なくなっている。

また、20～34歳の人口が少なくなっているが、これは高校卒業後の若者の流出が要因であると考えられる。

2. 人口、世帯

② 男女別人口の推移（令和2年国勢調査）

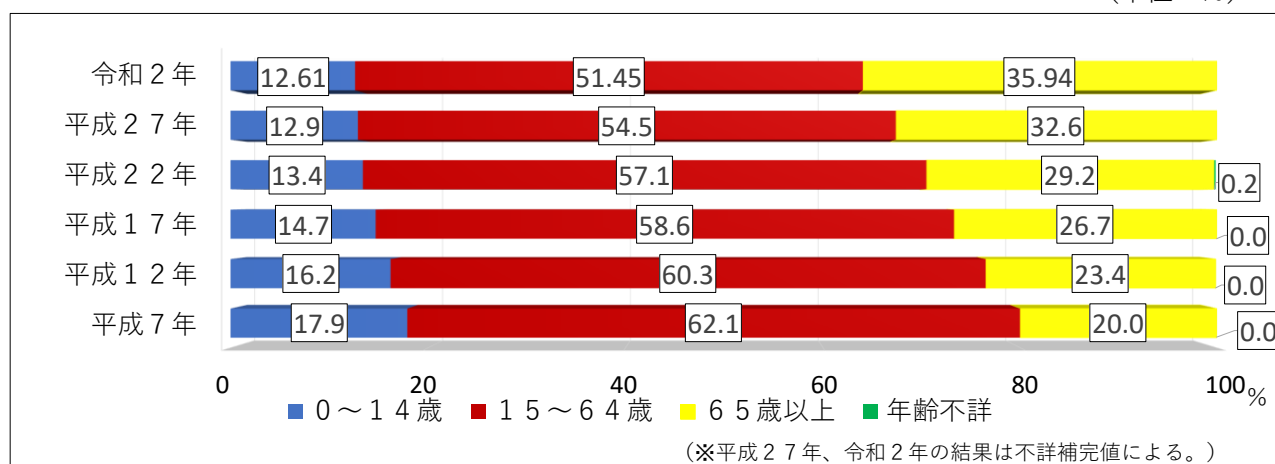
（単位：人）



令和2年は男女とも、ピークだった昭和55年の人口の74%まで減少している。

③ 年齢区分別人口割合の推移

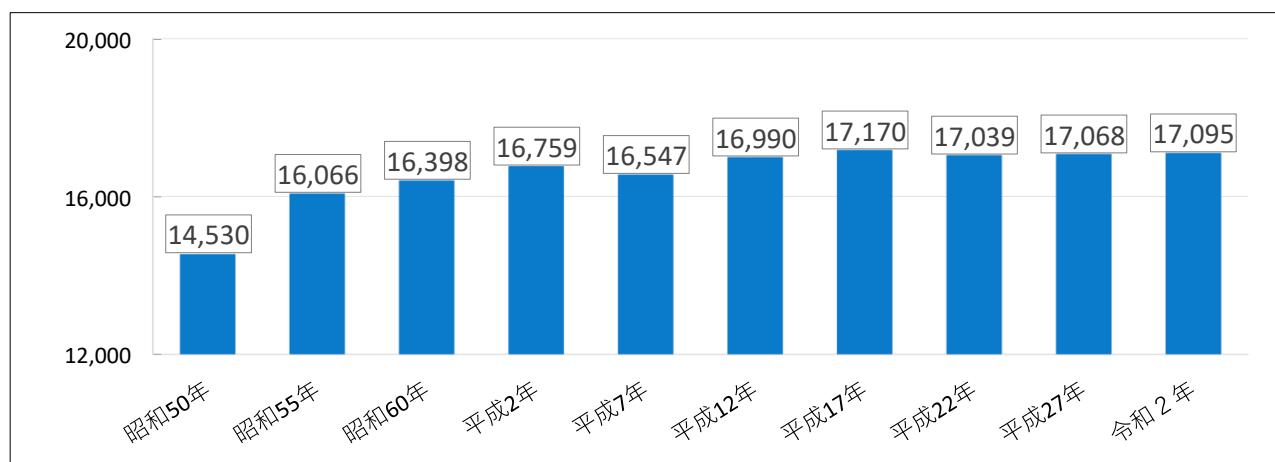
（単位：%）



0～14歳の人口は急激に減少し、65歳以上の人口は急激に増加している。

④ 世帯数の推移

（単位：世帯）



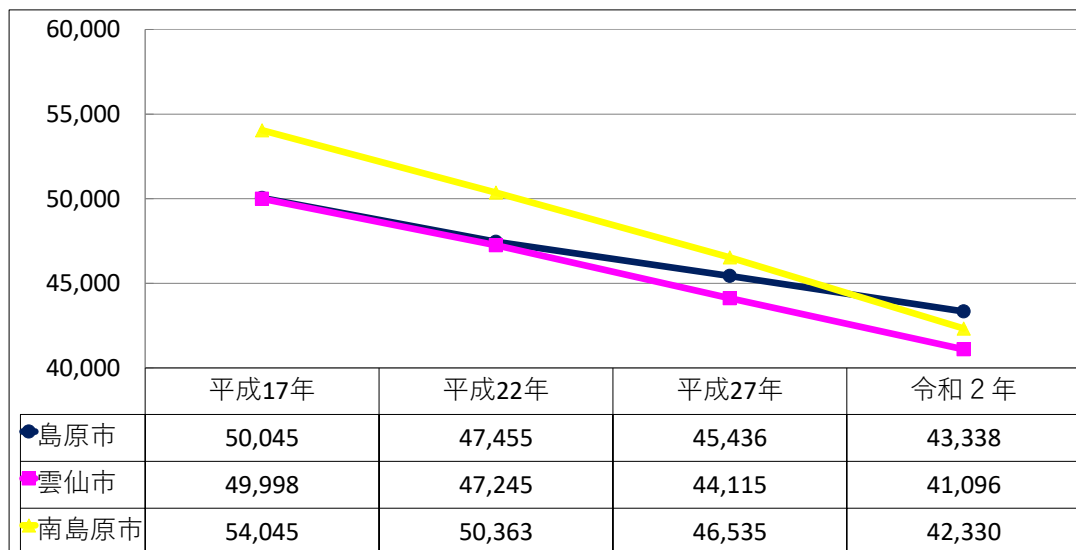
令和2年国勢調査の結果、世帯数は平成27年調査時より27世帯増えている。

2. 人口、世帯

(2) 長崎県及び半島3市における島原市の総人口と世帯の状況

① 人口の推移 (令和2年国勢調査)

(単位：人)



(※平成27年、令和2年の結果は不詳補完値による。)

半島3市の総人口は、減少傾向にあるが、半島3市の中では島原市の人口減少率が4.7%と最も低い。(参考) 島原市の住基人口 42,033人 (令和6年12月末)

【人口の割合】

(単位：人)

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
長崎県	1,516,523	1,478,632	1,426,779	1,377,187	1,312,317
島原市の割合	3.4%	3.4%	3.3%	3.3%	3.3%
半島3市	160,838	154,088	145,063	136,086	126,764
島原市の割合	32.1%	32.5%	32.7%	33.4%	34.2%

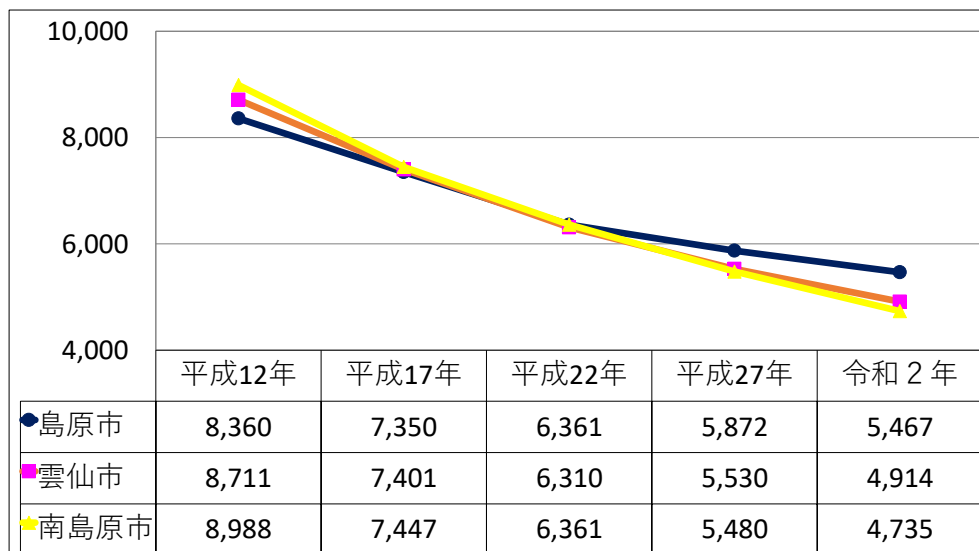
半島他2市より本市は人口減少率が鈍化している。

2. 人口、世帯

② 年齢区分別にみた人口の推移

【0～14歳の人口の推移】

(単位：人)



半島3市の人口は、急激に減少している。

(参考) 島原市の住基人口 4,987人
(令和6年12月末)

(※平成27年、令和2年の結果は不詳補完値による。)

【0～14歳の人口の割合】

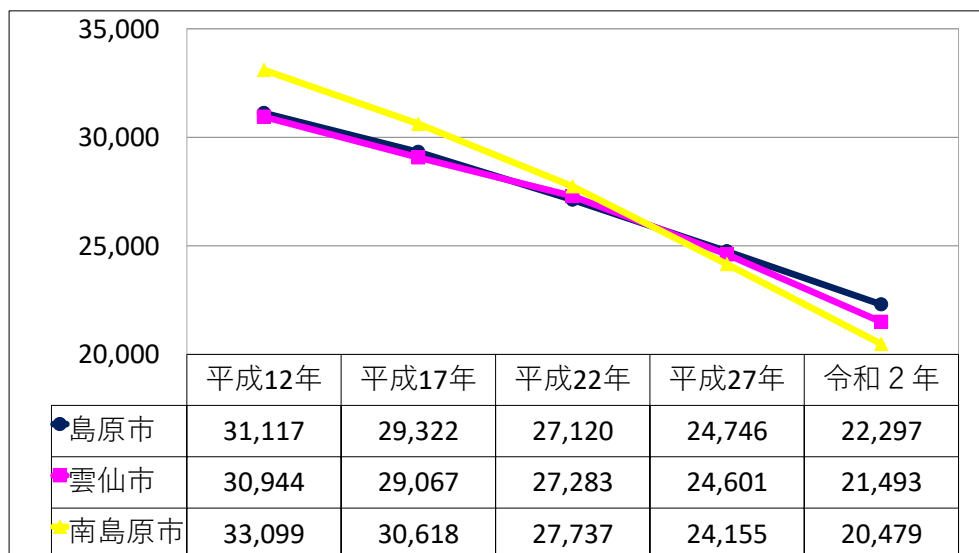
(単位：人)

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和 2 年
長崎県	243,046	215,987	193,428	178,092	164,573
島原市の割合	3.4%	3.4%	3.3%	3.3%	3.3%
半島3市	26,059	22,198	19,032	16,882	15,116
島原市の割合	32.1%	33.1%	33.4%	34.8%	36.2%

半島3市における島原市の割合は1.4%増加している。

【15～64歳の人口推移】

(単位：人)



半島3市の人口は、共に激減している。

(参考) 島原市の住基人口21,462人 (令和6年12月末)

(※平成27年、令和2年の結果は不詳補完値による。)

2. 人口、世帯

【15～64歳の人口割合】

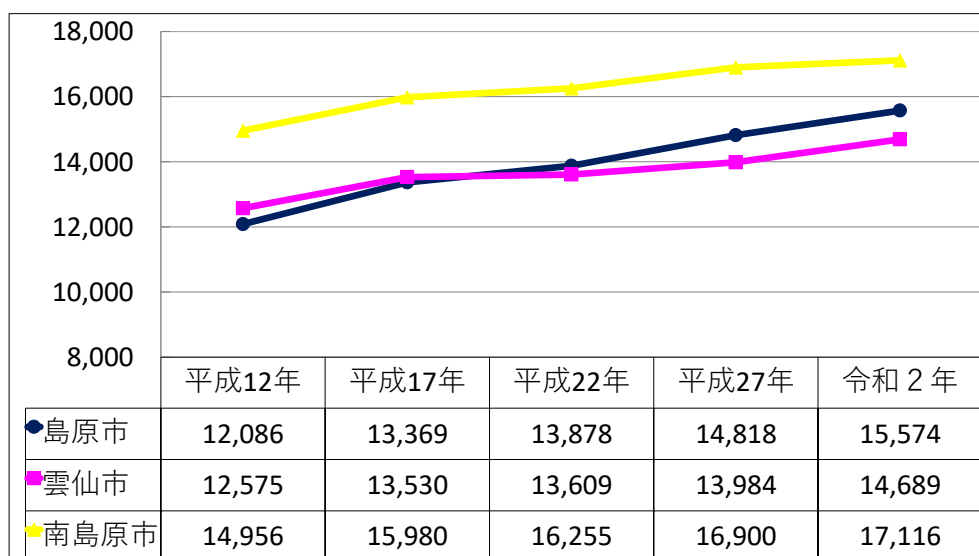
(単位：人)

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
長崎県	956,692	913,224	857,416	791,956	714,726
島原市の割合	3.3%	3.2%	3.2%	3.1%	3.1%
半島3市	95,160	89,007	82,140	73,502	64,269
島原市の割合	32.7%	32.9%	33.0%	33.7%	34.7%

島原市の割合は、長崎県内では減少傾向だが、半島3市ではわずかに増加傾向にある。

【65歳以上の人口推移】

(単位：人)



半島3市の人口は、共に増加し高齢化が進む。

(参考)

島原市の住基人口
15,584人(令和6年12月末)

(※平成27年、令和2年の結果は不詳補完値による。)

【65歳以上の人口割合】

(単位：人)

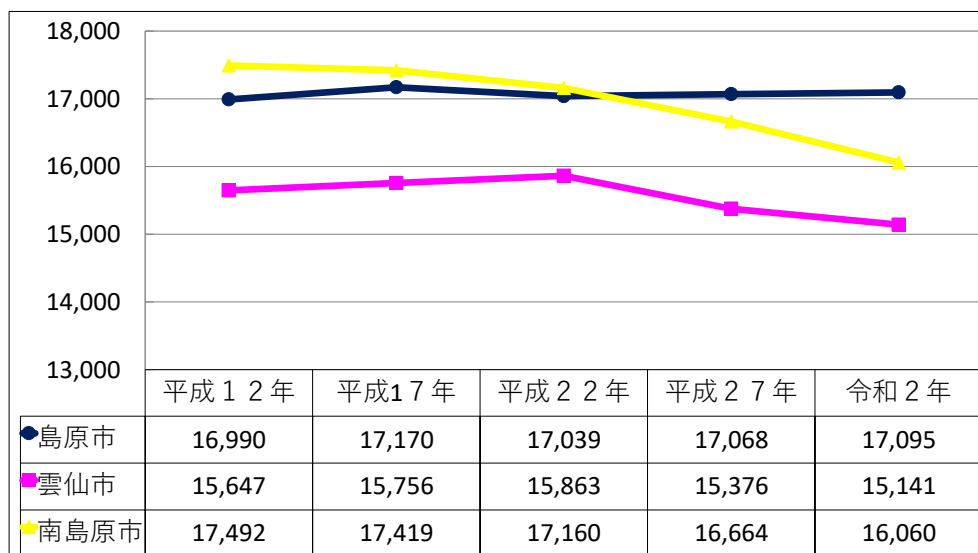
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
長崎県	315,871	348,820	369,290	407,139	433,018
島原市の割合	3.8%	3.8%	3.8%	3.6%	3.6%
半島3市	39,617	42,879	43,742	45,702	47,379
島原市の割合	30.5%	31.2%	31.7%	32.4%	32.8%

半島3市における島原市の割合は、微増傾向にある。

2. 人口、世帯

③ 世帯数の推移 (令和2年国勢調査)

(単位：世帯)



世帯数は、島原市で増加している。

【世帯数の割合】

(単位：世帯)

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
長崎県	544,878	553,620	558,660	560,720	556,130
島原市の割合	3.1%	3.1%	3.0%	3.0%	3.1%
半島3市	50,129	50,345	50,062	49,108	48,296
島原市の割合	33.9%	34.1%	34.0%	34.8%	35.4%

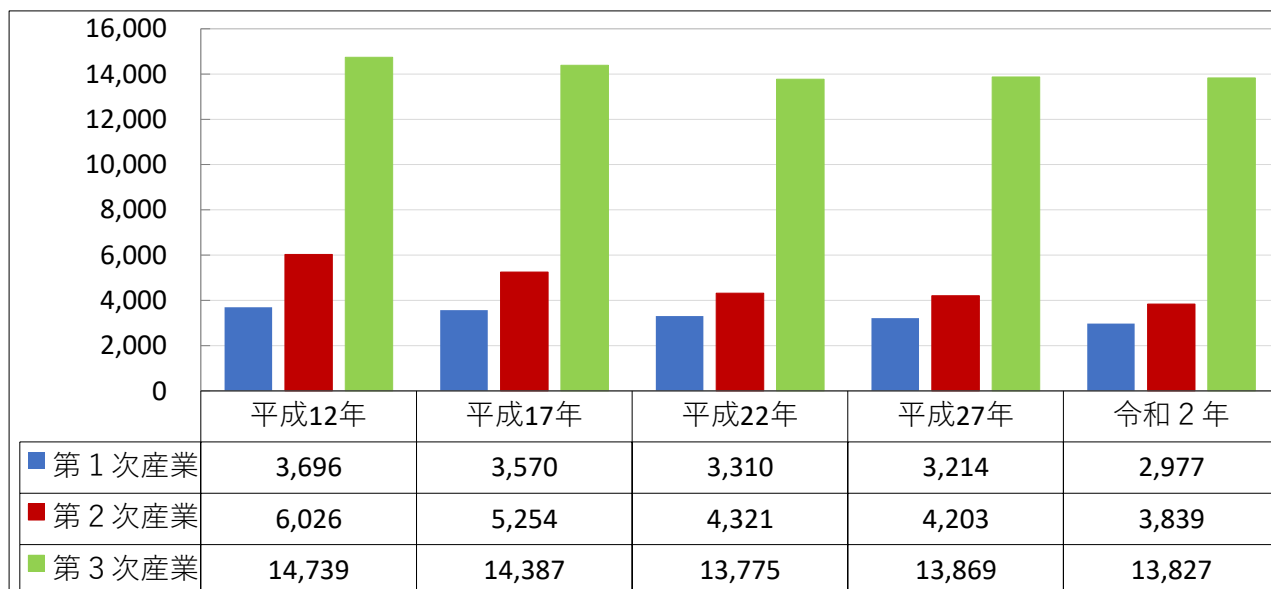
半島3市における島原市の割合は増加している。

2. 人口、世帯

(3) 島原市の産業別就業人口の状況

① 人口の推移

(単位：人)

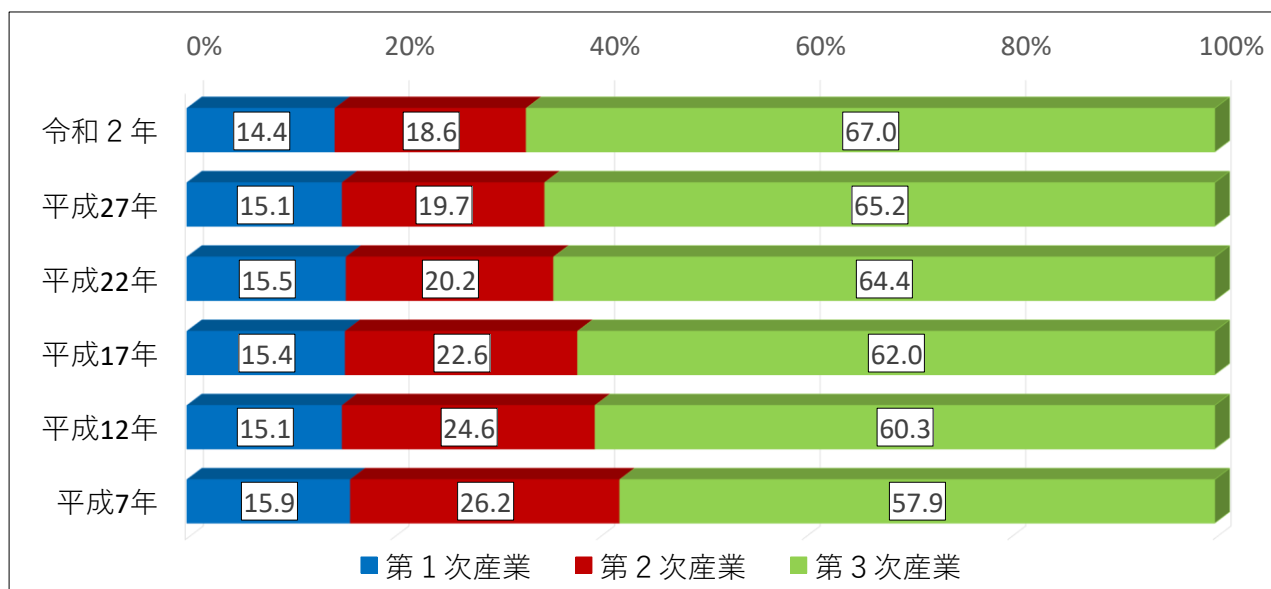


就業人口は、各産業とも減少している。

(注) 上記数値には「分類不能産業」が未算入のため、1 2 頁の合計とは合わない。

【就業人口の構造比の推移】

(単位：%)



人口構成比の推移をみると、第一次産業は横ばい、第2次産業は減少、第3次産業は増加している。

2. 人口、世帯

② 産業分類別就業人口の推移

(単位：人)

産業分類	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
農業	3,173	3,116	2,956	2,917	2,737
林業	11	13	14	9	15
漁業	512	441	340	288	225
第1次産業計	3,696	3,570	3,310	3,214	2,977
鉱業	5	7	1	-	2
建設業	3,037	2,513	1,920	1,817	1,794
製造業	2,984	2,734	2,400	2,386	2,043
第2次産業計	6,026	5,254	4,321	4,203	3,839
電気・ガス・熱供給・水道業	107	78	71	79	84
運輸業・郵便業	992	800	909	800	722
情報通信業	(運輸・郵便業に含む)	(運輸・郵便業に含む)	(運輸・郵便業に含む)	(運輸・郵便業に含む)	92
卸売・小売	5,550	3,272	3,598	3,088	3,024
宿泊業、飲食サービス業	(宿泊：サービス業に、飲食店：卸・小に含む)	1,114	1,210	1,188	1,097
金融業・保険業	466	407	358	360	325
不動産業・物品賃貸業	66	68	127	131	118
学術研究・専門・技術サービス業	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	368
生活関連サービス業・娯楽業	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	710
教育・学習支援業	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	1,060
医療・福祉	(サービス業に含む)	3,101	3,407	3,814	4,133
複合サービス事業	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	(サービス業に含む)	292
サービス業	6,663	3,788	3,287	3,583	960
公務・その他	895	817	808	826	842
第3次産業計	14,739	13,445	13,775	13,869	13,827

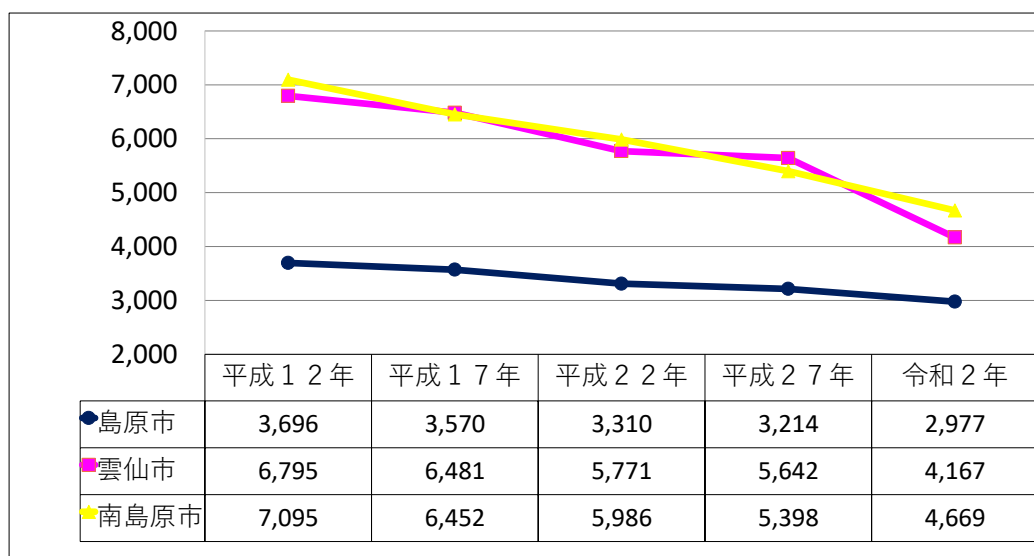
※ 分類不能産業は未算入。島原市では、第1次産業、第2次産業が減少し、第3次産業については、ほぼ横ばいを続けている。

2. 人口、世帯

(4) 長崎県及び半島3市における島原市の産業別就業人口の状況

① 第1次産業人口の推移

(単位：人)



半島3市の就業人口は、共に減少している。

島原市の減少の主な要因は、農業・漁業を営む人が減っているためである。

【第1次産業人口の割合】

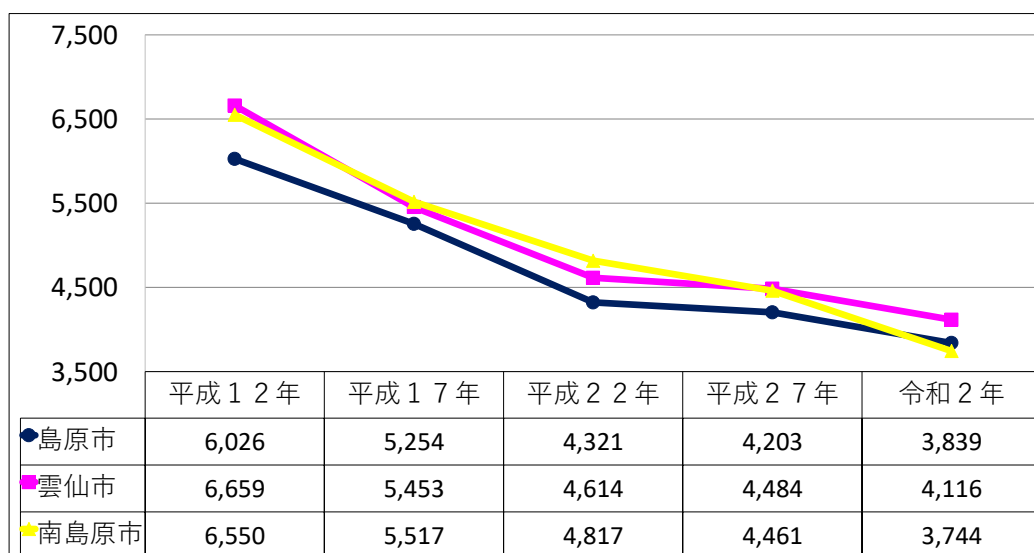
(単位：人)

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
長崎県	67,198	62,011	51,695	47,812	40,802
島原市の割合	5.5%	5.8%	6.4%	6.7%	7.3%
半島3市	17,586	16,503	15,067	14,254	11,813
島原市の割合	21.0%	21.6%	22.0%	22.5%	25.2%

長崎県及び半島3市における島原市の割合は、増加傾向にある。

② 第2次産業人口の推移

(単位：人)



半島3市の就業人口は、共に減少している。

島原市の減少の主な要因は、建設業及び製造業従事者が減っているためである。

2. 人口、世帯

【第2次産業人口の割合】

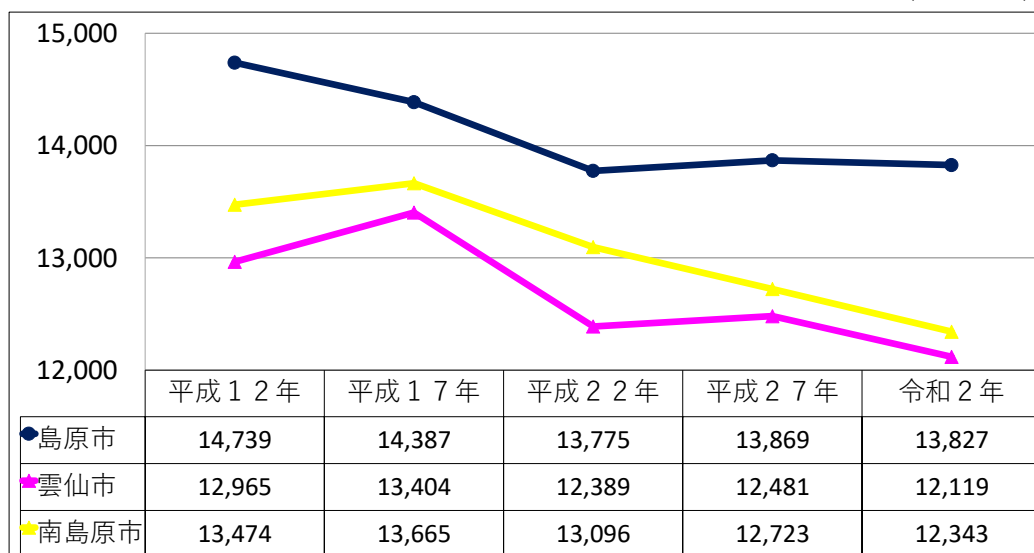
(単位：人)

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
長崎県	165,956	140,390	127,183	125,674	116,363
島原市の割合	3.6%	3.7%	3.4%	3.3%	3.3%
半島3市	19,235	16,224	13,752	13,148	11,699
島原市の割合	31.3%	32.4%	31.4%	32.0%	32.8%

島原市の割合は、長崎県内で減少、半島3市では横ばいの傾向にある。

③ 第3次産業人口の推移

(単位：人)



半島3市の就業人口は減少傾向にある。

島原市で増加した産業は、医療・福祉事業従事者が増加している。

【第3次産業人口の割合】

(単位：人)

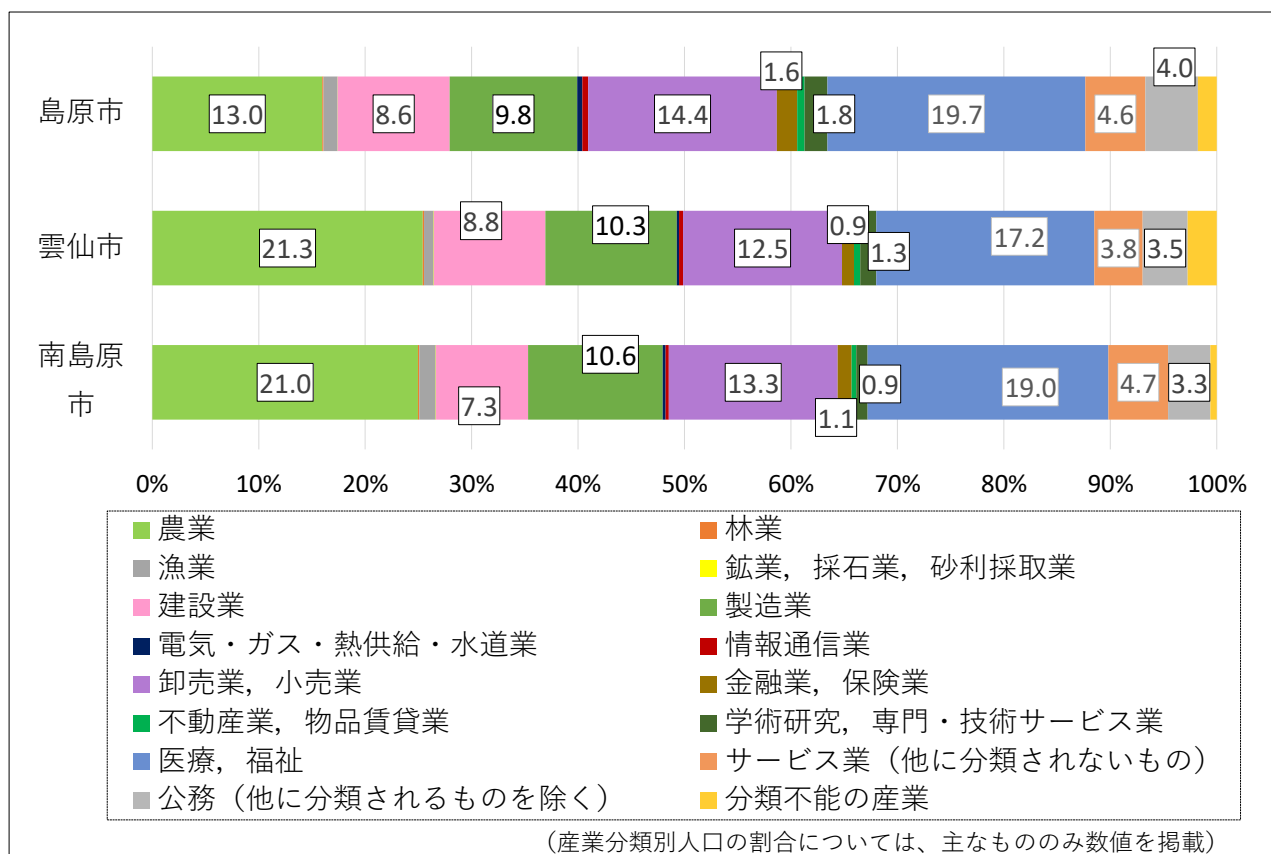
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
長崎県	466,197	473,801	450,757	450,488	446,057
島原市の割合	3.2%	3.0%	3.1%	3.1%	3.1%
半島3市	41,195	41,525	39,260	39,073	38,289
島原市の割合	35.8%	34.6%	35.1%	35.5%	36.1%

島原市の割合は、長崎県内においては横ばい、半島3市においては微増となっている。

2. 人口、世帯

④ 産業分類別就業人口の状況（令和2年）

（単位：％）



半島3市の中で、島原市は、卸売・小売の就業人口の占める割合が高く、農業の就業人口の割合が低いことが分かる。

2. 人口、世帯

【島原市の産業分類別就業人口の状況】（令和2年）

（単位：人）

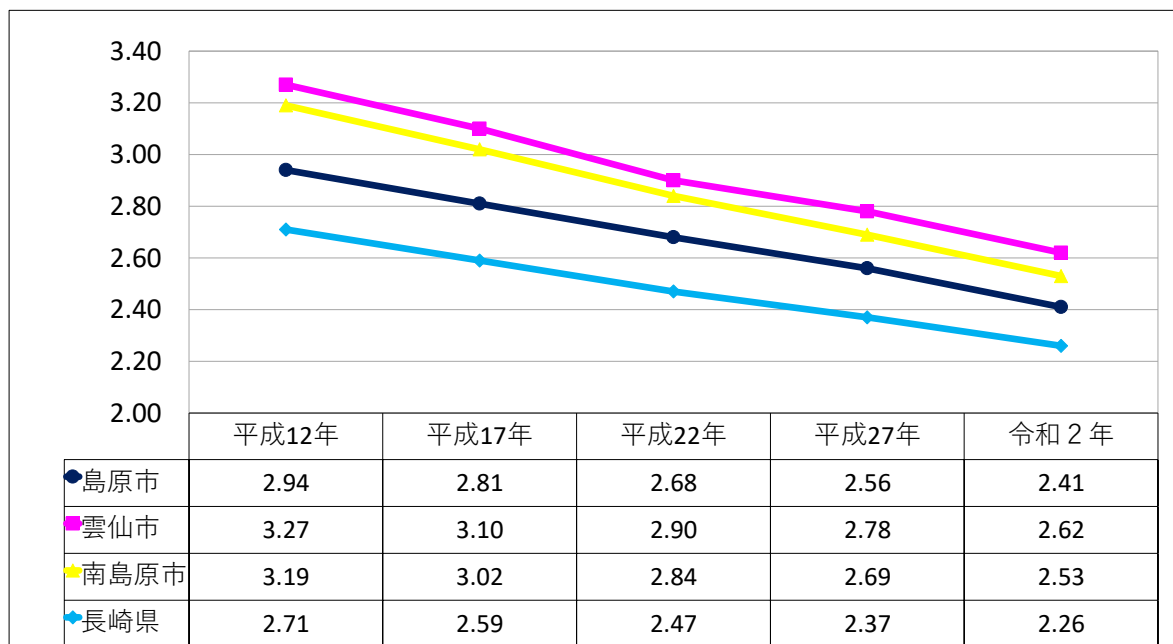
項 目	島原市	雲仙市	南島原市
農業	2,737	4,579	4,386
林業	15	20	13
漁業	225	162	270
鉱業	2	5	6
建設業	1,794	1,887	1,518
製造業	2,043	2,224	2,220
電気・ガス・熱供給・水道業	84	40	48
情報通信業	92	67	53
運輸業・郵便業	722	695	677
卸売・小売	3,024	2,691	2,782
金融業・保険業	325	202	231
不動産業、物品賃貸業	118	105	76
学術研究、専門・技術サービス業	368	270	189
宿泊業、飲食サービス業	1,097	1,162	905
生活関連サービス業、娯楽業	710	550	539
教育、学習支援業	1,060	727	785
医療・福祉	4,133	3,691	3,969
複合サービス事業	292	340	408
サービス業（他に分類されないもの）	960	818	983
公務	842	761	698
分類不能産業	303	494	105
合 計	20,946	21,490	20,861

2. 人口、世帯

(5) その他の人口に関する資料

① 一般世帯(※1)における1世帯当たり世帯人員の推移

(単位：人)

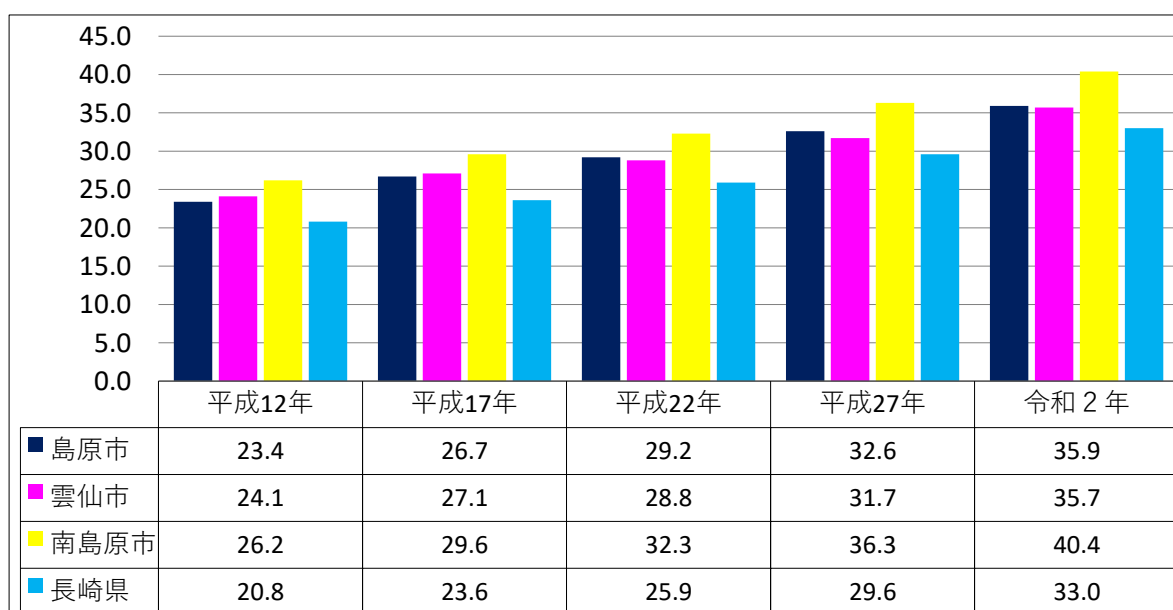


島原市の世帯人員は、半島3市の中では一番少なく、長崎県と比較すると多い。

(※1) 一般世帯とは、老人ホームなどの社会施設等を除いたもの。

② 高齢化率の推移

(単位：%)

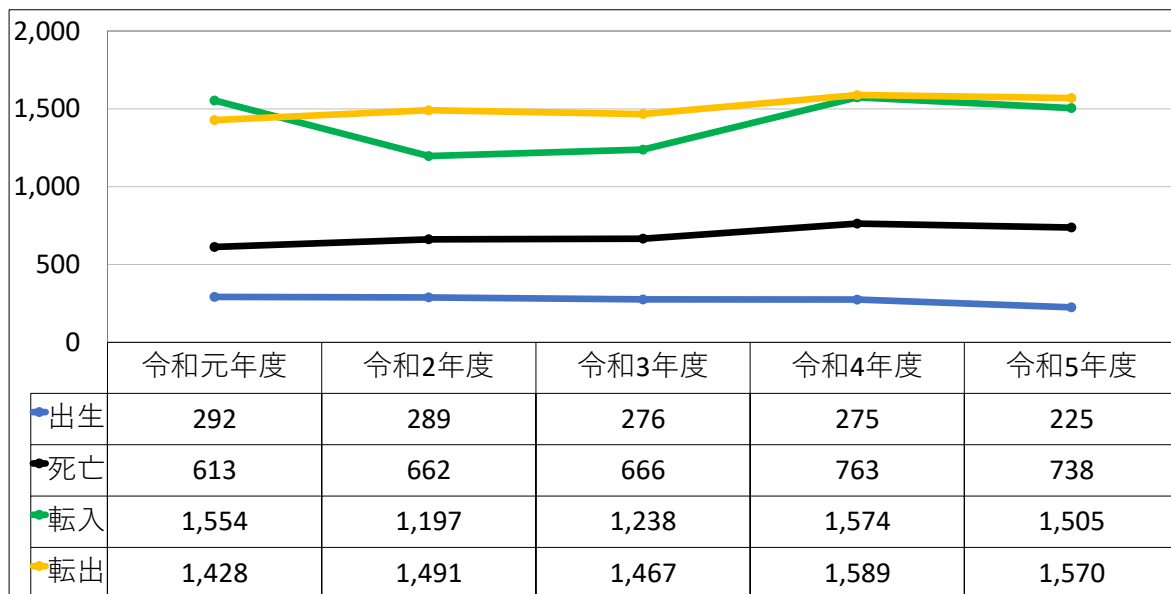


半島3市の高齢化率（65歳以上）は、上昇を続けている。

2. 人口、世帯

③ 島原市の移動人口の推移

(単位：人)



令和5年度の自然動態は、出生が5年連続減少となり、社会動態は転入及び転出が前年度を下回った。